

携帯バッグ

ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、記述されている説明に従って、使用してください。

<用途>

本品を用いることにより散歩などちょっとした外出に便利です。

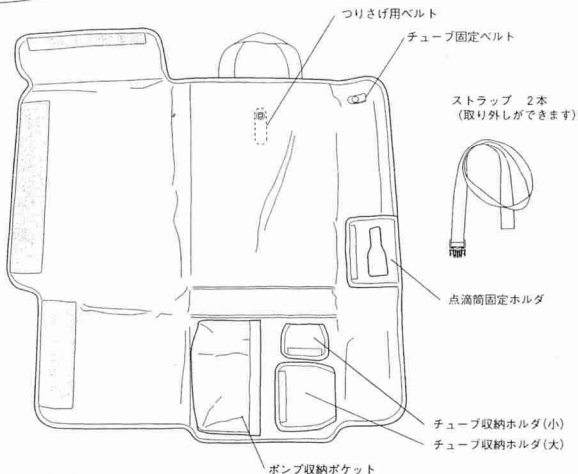
本品が入る大きさのカバンに入れていただくことで見た目にも気にならずに輸液が継続できます。

付属のストラップを使用することにより、背負うことができます。

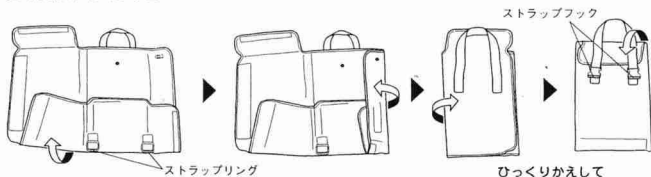
取扱上の注意

- 他の用途には使用しないでください。過度の負荷は破損の原因になります。
- 安全にご使用頂くために、各部に破損のある場合は使用しないでください。

各部の名称



●たたみかた

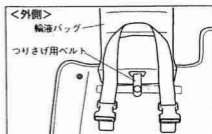


注意

- カフティーポンプ及びテルフュージョンポンプ用チューブセット(フィルター付)は、個々の取扱説明書に記載されている説明に従って使用してください。
- 携帯バッグご使用の前に、輸液バッグにテルフュージョンポンプ用チューブセット(フィルター付)を接続し、プライミングを行ってください。プライミング終了後クレンメが閉じている事を確認してください。
- テルフュージョンポンプ用チューブセット(フィルター付)は、チューブの折れ曲がりがないよう取扱に注意してください。
- バッグは常に立てた状態でご使用ください。
寝かせた状態で使用しますと、チューブ内に空気が入る場合があります。

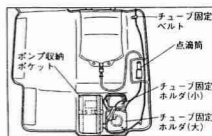
1 輸液バッグをバッグに装着する

- 1) 輸液バッグをバッグの外側にあるつりさげ用ベルトにかけ、ボタンを留めてください。



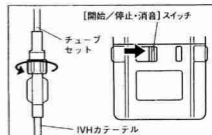
2 チューブをセットします

- 1) 点滴筒を固定してください。
- 2) チューブをポンプにセットし、ポンプ収納ポケットに入れます。ポンプと点滴筒の間のチューブをチューブ固定ホルダ(小)に丸くまとめて固定してください。
- 3) フィルター及びチューブをチューブ固定ホルダ(大)に固定してください。
- 4) チューブ固定ベルトでチューブを止めてください。



3 輸液ラインに接続する

- 1) IVHカテーテルと接続し、クレンメを開けてください。
- 2) ポンプの「開始/停止・消音」スイッチを開始側にし輸液を開始してください。



4 カバンを組み立てます

- 1) チューブの折れ曲がりには注意し、ポンプと輸液剤の間で折り曲げてください。
- 2) 右側をたたみ、次に左側をたたみます。
- 3) バッグ上部の蓋を閉じます。

